

事業所名		キッズデイサービスらくた長湯店		公表日		2026年 3月 23日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		<input type="radio"/>	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			<input type="radio"/>	・バリアフリー化について指摘があるが、すぐに改善は難しいことから保護者と相談し、必要なフォローや動線の確保を行っている。また、玄関を安全に出入りできるようシート等で保護している。	・車イスでも容易に玄関、洗面所、トイレで動けるとよい。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		<input type="radio"/>		・毎日の消毒や床拭きシートなどを利用している。 ・掃除のチェック表を作り、前回から期間が空かないよう確認して掃除を行っている。	・マット下やエアコンの掃除を担当以外にも気を遣って行わなければならない。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>		・認められている部屋はあるが、許可を得てから入る等のルールを提示している。また、活動に応じてスペースを区切る環境がある。	・医療処置ができる部屋があるとよい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>		・ミーティングを行い前日や当日の話し合いを行っている。また、参加出来ない場合や、早帰りの日や休日においては共有ノートを活用している。	・学校の早帰りの日が多く、午後からのパートは打ち合わせに参加できない日が多かった。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・ホームページにて公開している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・ミーティング等で意見を出し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			<input type="radio"/>		・現在外部評価は行ってないが、必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>		今年度よりブライランド等のツールを参考にしながら確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		<input type="radio"/>		各項目及び5領域を取り入れた個別支援計画を作成している。また、将来を見据えて今年度より職業訓練や就労施設の見学、体験も行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		<input type="radio"/>			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		<input type="radio"/>		・毎月計画スタッフを変えたり新しい活動を取り入れる他、同じ活動でも内容を変え実施している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・午後時間が取れない時には午前中に行うなどしてできるだけ行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・当日は送迎もあり難しいため、翌日のミーティングにて共有している。また、できない日が続いた場合にはきちんと数日の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援ツールを活用して記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参画し、ミーティングにて施設スタッフに情報共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・年1回以上リハビリの見学等行えるよう連携をとっている。	・保護者を介した情報交換を行うとスレが生じることがある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・保護者、相談員を通じて情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・情報提供シートを活用し、共有をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・会議において情報共有を行ったり研修を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・見学は都合が合えば行っている。	・参加しているか分からないので聞いていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳の他、送迎時等で顔を合わせた時に日々の様子を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・解決しない場合もあるが、アドバイス等行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・今年開催しようと考えてはいるが、感染予防のため検討中である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・絵カードやタブレットを用いて伝える方法の習得を目指している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	○			・地域のゴミ拾いを実施している。 ・他事業所（高齢者施設等）との合同イベントを開催している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			・児童発達支援管理責任者や看護師も確認した上で情報共有を行っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズデイサービスらくだ長湯店		
○保護者評価実施期間	2025年11月18日		2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・医療ケア児の受け入れ態勢ができており、看護師が常駐していること	・医療的ケアや怪我、体調不良への対応等。	・医療ケア児の滞在時間や利用人数を伸ばせるよう、看護師の増員を行う。
2	・地域交流の機会を作っていること	・地域のイベントへの参加や他事業所との合同イベントを開催している。	・ホームページへの掲載や、事業所間や地域におけるつながりを強化し、交流の機会を増やす。
3	・リハビリ職員を配置していること	・言語聴覚士によるリハビリを行っている。 ・系列事業所の理学療法士と連携を取りリハビリを行っている。 ・ヴァインランド等のツールを参考にアセスメントを行っている。	・作業療法士の増員によりリハビリの充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設がバリアフリー化されていないこと	・玄関の段差が高い。 ・トイレや洗面所の入り口が狭い。	・現在、スタッフによる介助で安全への配慮をしているが、今後スロープの設置等が必要になれば検討する必要がある。
2	・保護者同士の交流の機会がないこと	・コロナ禍は、感染予防の観点から保護者会を中止していた。	・感染症は落ち着いたが、現在休止中のため早期に開催できるよう努めていく。
3			